

こんにちは。

先月で一学期が終わりました。3か月、信じられない位早く感じました。

今回は私が「日本と違って面白い!」と思ったアメリカ文化について紹介します。

私は先月演劇の公演を終えました。日本にいた時も白鷗中学演劇部で三年間活動していた私は、公演の規模の違いに衝撃を受けました。まず Black box という演劇専用の教室が学校にあるだけでうらやましい限りですが、ピンマイクが十台以上、(私も付けました!!) 衣装は30人分衣裳部屋から選べ、何人かは演劇部が所有するメイク道具で特殊メイクをしていました。また、練習がほぼ毎日遅くまでであるため、スナックや水などのケータリングも豊富です。休日練習の時はお母さんたちがタコスを作りに来てくれました。日本の部活のように部費も集めますし、そもそも教育機関から支給される額の違いもありますが、多くの本格的な道具や設備の資金の元になっているのが Fundraising (資金集め) です。演劇部は公演の最中にスーパーで買って来たり、手作りしたクッキーやジュースをお客さんに配ります。値段は決まっておらず、お金を好きなだけ寄付してくださいというシステムです。バンド部は大会に行くお金を Fundraising の為に作られたチョコバーを売って集めます。私も一つ購入しましたが、既にパッケージに1ドルと印字されていて、いくら集まったかの計算が本当に簡単らしいです。先月書いたホームカミングの試合会場でも選手のお父さんたちが色々な料理を屋台のようなテントの下で作っていました。これも値段は決まっていませんでした。もう一つ例を挙げると、私の所属する多文化クラブは来週、クリスマス映画上映会をします。Fundraising 目的でポップコーンなども売って、今度部活として旅行に行く資金に充てようと考えています。そして、こういうものにアメリカの人はお金をたくさん払います! 学校の資金集めの活動は生徒なら自分たち、保護者なら自分の子供や友達に何かしら帰ってくる、利益があるからです。演劇部の公演のチケットも大人10ドル(約1,000円)、子供とシニア8ドル(800)と私の想像よりだいぶ高額でした。でもその分、質の高い設備や公演にかかるお金が違うと分かりました。部活のことなので、部活の種類や学校によっても多く違いがあると思います。日本でやろうと思ったら衛生面やお金の管理などで問題になりそうですが、個人的に大好きなアメリカ文化です。これからも色々な活動に積極的に参加していきたいです。

白鷗高校 12 期生 次世代リーダー育成道場 7 期生 Y・A